

作物統計調査 令和5年産水稻の作付面積及び収穫量 （山口県）

【調査結果の概要】

1 作付面積

令和5年産水稻の作付面積から、青刈り面積（飼料用米等を含む。）を除いた作付面積（子実用）は1万7,100ha（前年産に比べ500ha減少）となった。

また、水稻の作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた主食用作付面積は1万6,000ha（前年産に比べ600ha減少）となった。

2 作柄概況

5月下旬から7月上旬にかけて断続的な日照不足により分けつが抑制され、穂数は「やや少ない」となった。穂数がやや少ないことによる補償作用により、1穂当たりもみ数は「やや多い」となったことから、全もみ数は「平年並み」となった。7月下旬以降、気温、日照時間に恵まれたことから、登熟は「平年並み」となった。

作柄としては、生育がおおむね順調に推移したことから、10a当たり収量は510kg（前年産に比べ16kg減少）、作柄表示地帯別では、東部で479kg（前年産に比べ25kg減少）、西部で520kg（同12kg減少）、長北で508kg（同22kg減少）となった。

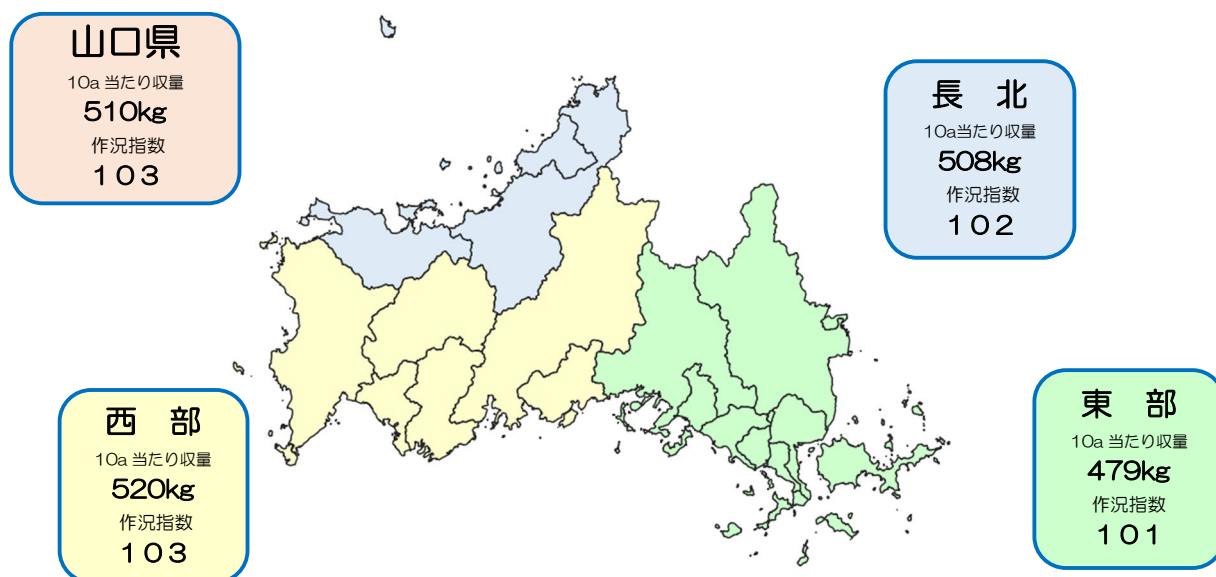
また、農家等が使用しているふるい目幅（1.85mm）以上に選別された玄米を基に算出した作況指数は103の「やや良」、作柄表示地帯別では、東部は101の「平年並み」、西部は103の「やや良」、長北は102の「やや良」となった。

3 収穫量

収穫量（子実用）は、8万7,200t（前年産に比べ5,400t減少）となった。

また、主食用作付面積に10a当たり収量を乗じた収穫量（主食用）は、8万1,600t（前年産に比べ5,700t減少）となった。

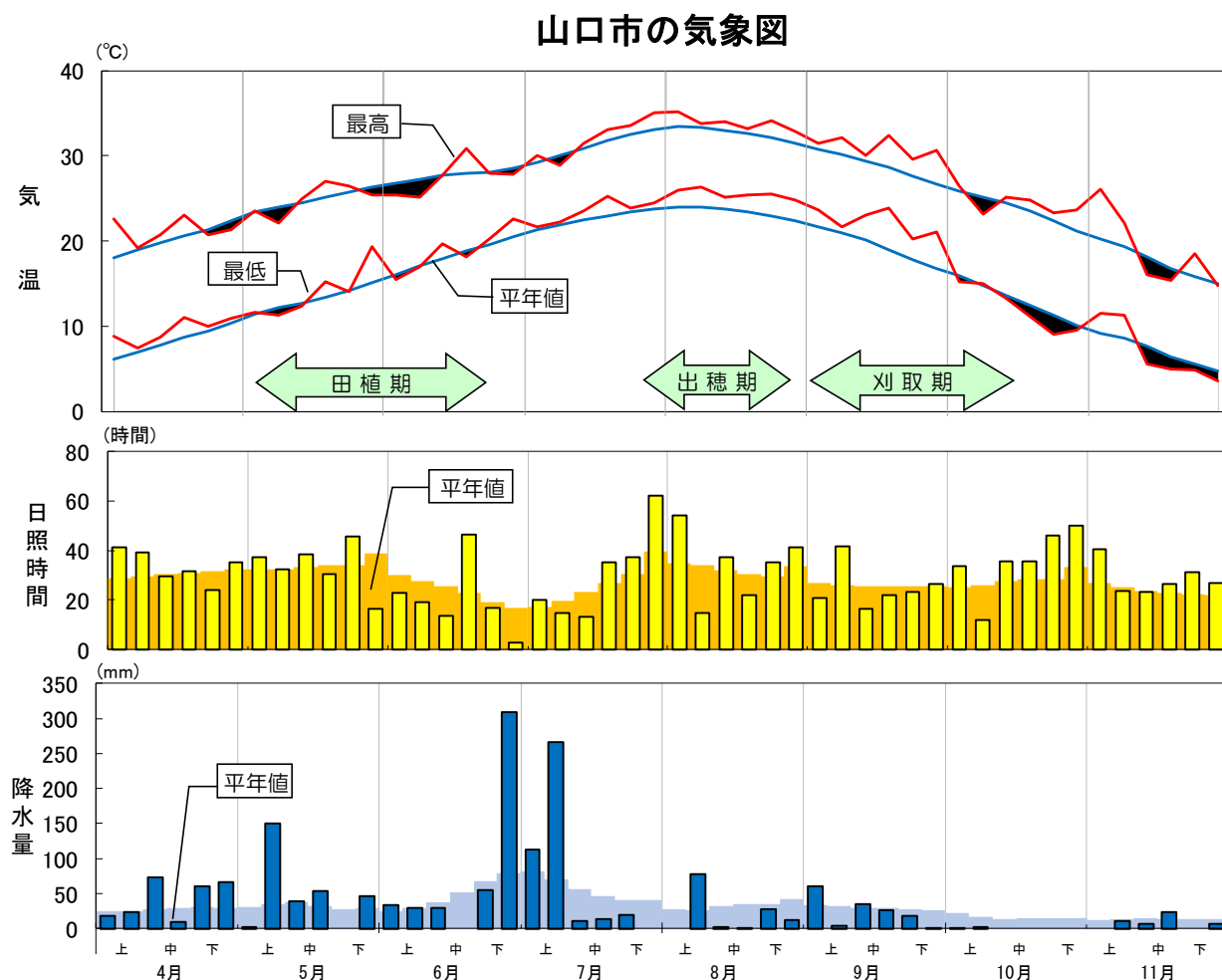
図 作柄表示地帯別 10a 当たり収量及び作況指数



◎累年統計表

区 分	作付面積 (子実用)	10a当たり 収 量	収 穫 量 (子実用)	主 食 用 作付面積	収 穫 量 (主食用)	作況指数
	ha	kg	t	ha	t	
山口県 平成25年産	22,900	487	111,500	22,800	111,000	97
26	22,300	483	107,700	21,500	103,800	96
27	21,600	491	106,100	20,500	100,700	97
28	21,000	512	107,500	19,800	101,400	102
29	20,300	521	105,800	19,300	100,600	103
30	19,800	522	103,400	18,900	98,700	104
令和元	19,300	474	91,500	18,400	87,200	94
2	18,900	386	73,000	17,800	68,700	73
3	18,400	506	93,100	17,400	88,000	101
4	17,600	526	92,600	16,600	87,300	105
5	17,100	510	87,200	16,000	81,600	103

◎半旬別気象図



資料：気象庁『アメダスデータ』

本資料は、「作物統計調査 令和5年産水稻の作付面積及び収穫量（中国地域・四国地域）」の補足資料です。

お問合せ先

中国四国農政局 山口県拠点 統計チーム

電 話：083-922-5473